



火影ゆらり 水俣・寒川

水俣市久木野の山間部にある寒川地区で19日夜、田植え前の水を張った棚田に約2千本のたいまつをともす催しがあった。地区の棚田は「日本の棚田百選」に数えられており、県内外からの見物客が幻想的な雰囲気を楽しんだ。

コメを育て、水源や景観を保つ棚田の役割を見つめ直そうと、農林業の支援や文化交流に取り組む市の施設「久木野ふるさとセンター愛林館」と地元住民が2005年から続けている。

たいまつは地元で伐採した竹を筒にし、使用済みの食用油を加工したバイオディーゼル燃料と稲わらをつめたもの。日が落ちる頃、住民のほか、熊本大や尚絅大などのボランティア約50人が火をともした。